

企画運営委員会前調整 役員会次第

日 時 令和元年 10 月 10 日(木)13:00～

場 所 県社会福祉会館 1 階 身体障害者集会室

開 会

1 理事長挨拶

2 議題

(1) 令和元年度「保育の日前夜祭」について

(2) 令和元年度キャリアアップ研修について

①第 1 回保育園利用者相談室研修会（苦情解決の取り組みⅠ）

②「乳児の発達に応じた保育内容」研修会

③「組織マネジメント」研修会

④「保育士の育成」研修会

⑤「乳児への適切なかかわり」研修会

⑥「乳児保育の意義と指導計画及び記録と評価」研修会

⑦第 2 回保育園利用者相談室研修会（苦情解決の取り組みⅡ）

⑧「保育所における食事の提供ガイドライン」研修会

(3) その他

・(一社)神奈川県保育会の事務所移転について

4 報告事項

(1) 全保協情報 19・11～19・14

(2) 部会からの報告

(3) 地域からの報告

(4) その他

10月企画運営委員会次第

日 時 令和元年10月10日(木)14:30～

場 所 県社会福祉会館 1階 身体障害者集会室

開 会

1 理事長挨拶

2 議題

(1) 令和元年度「保育の日前夜祭」について

(2) 令和元年度キャリアアップ研修について

①第1回保育園利用者相談室研修会（苦情解決の取り組みⅠ）

②「乳児の発達に応じた保育内容」研修会

③「組織マネジメント」研修会

④「保育士の育成」研修会

⑤「乳児への適切なかかわり」研修会

⑥「乳児保育の意義と指導計画及び記録と評価」研修会

⑦第2回保育園利用者相談室研修会（苦情解決の取り組みⅡ）

⑧「保育所における食事の提供ガイドライン」研修会

(3) その他

・(一社)神奈川県保育会の事務所移転について

4 報告事項

(1) 全保協情報 19-11～19-14

(2) 部会からの報告

(3) 地域からの報告

(4) その他

閉 会

※12月企画運営委員会(予定)

令和元年12月5日(木)14:30～ 県社会福祉会館

「保育の日前夜祭」(第42回) 開催要領

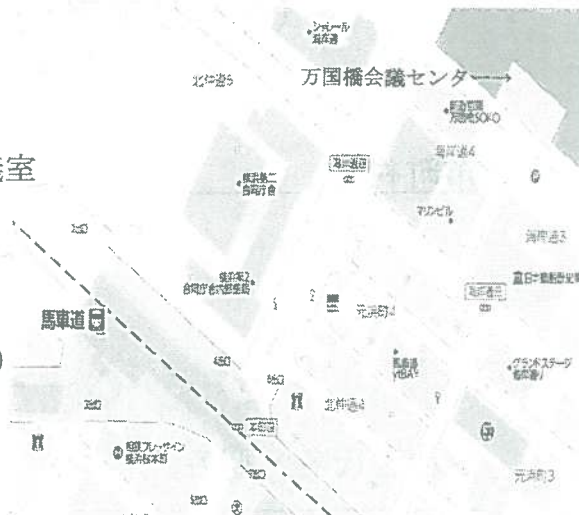
- 1 趣 旨 「神奈川県保育の日」を翌々日に控え、保育関係者が一堂に会し、この一年の保育功労受賞(章)者の皆様をお招きして祝賀を行なうとともに、日頃保育業務に専念されている方々のご苦勞をねぎらい、保育事業のより一層の進展に資することを目的に開催する。
- 2 主 催 一般社団法人 神奈川県保育会
- 3 日 時 令和元年12月5日(木)
17:30~20:00
(受付 17:00~)
- 4 会 場 ホテルプラム横浜
3階ジョルジュ・サンク
横浜市西区北幸2-9-1
(横浜駅西口より徒歩約7分)
(電話) 045(314)3111(代)
- 
- 5 招 待 (1) 神奈川県保育賞受賞決定者 (2) 叙勲・褒章受章者
(3) 厚生労働大臣表彰受賞者 (4) 神奈川県県民功労者表彰受賞者
- 6 来 賓 (1) 神奈川県、神奈川県議会、神奈川県児童福祉審議会代表者
(2) 神奈川県社会福祉協議会会長
(3) 神奈川県社会福祉婦人懇話会会長
(4) 神奈川県ゆりの会会長
(5) 神奈川県保育士会会長
(6) 神奈川県内保育士養成校学(校)長
- 7 参加者 保育園長、副園長、主任保育士、保育士等120名程度
- 8 内 容 (1) 受賞(章)者紹介、花束贈呈
(2) 来賓祝辞、紹介
(3) アトラクション

(4) 会食・懇談
- 9 参加費 10,000円
参加費は、当日持参加振込(替)でお願いいたします。
振込(替)の場合は、次のいずれかの口座をご利用ください。
・銀行振込 横浜銀行 横浜駅前支店 普通預金 6016262
一般社団法人 神奈川県保育会理事長 萩原 敬三(ハギワラ ケイゾウ)
・郵便振替 00260-2-68336 一般社団法人神奈川県保育会

令和元年度 第1回保育園利用者相談室研修会開催要領
(苦情解決の取り組み I 研修会)

- 1 目的 保育園利用者からの意見・要望・苦情等に的確に対応するノウハウを蓄積して、保育園に対する利用者の信頼度を高めていくとともに、保育サービスの質の一層の向上を図ることを目的として、研修会を開催します。
当研修は、神奈川県指定キャリアアップ研修(マネジメント分野)に位置づけられています。

- 2 開催日時 令和元年 10月 21日(月)
13時～17時まで
- 3 会場 万国橋会議センター 4階 401/402 会議室
横浜市中区海岸通 4-23
みなとみらい線馬車道駅徒歩 4分
JR 根岸線 市営地下鉄桜木町内駅徒歩 10分
Tel 045-212-1034 (代表)



- 4 研修内容及び講師
- (1) 研修テーマ 神奈川県における児童虐待や
ネグレクトについて
- (2) 講師 神奈川県中央児童相談所
虐待対策支援課長 佐藤和宏氏
- (3) スケジュール 12:30 受付
13:00 開会、講師による講義、
14:45 グループワーク
16:30 レポート作成
17:00 閉会

5 対象及び参加費、定員

(1) 対象及び参加費

- 神奈川県保育会保育園利用者相談室会員保育所の園長等管理者及び準ずる方
……参加費は無料
- 神奈川県保育会会員で保育園利用者相談室会員でない保育所の園長等管理者及び準ずる方、政令市保育協議会会員の保育所等
……参加費は有料(1人につき3,000円を徴収いたします。)
・参加費は当日持参か振込(替)をお願いいたします。

なお、振込(替)の場合、振込名義人は民間の方は保育園名にて 10/24(水)迄に手続きください。

<銀行振込> 横浜銀行 横浜駅前支店 普通預金 6016262

一般社団法人 神奈川県保育会

理事長 萩原 敬三(ハギワラ ケイゾウ)

<郵便振替> 00260-2-68336 一般社団法人 神奈川県保育会

- (2) 定員 100名程度(定員になり次第締め切らせていただきます。)

- 6 申込方法 令和元年 10月 10日(木)までに、別紙申込書でお申し込みください。

神奈川県保育会事務局 行き

Fax 045-311-1837

保育園利用者相談室研修会（苦情解決の取り組みⅠ）
（キャリアアップ（マネジメント分野）対象研修）
10/21（月）開催 参加申込書

市町村名 _____

保育園名 _____

Tel _____

参加者氏名・職名

ふり 氏	がな 名	職 名	キャリアアップ研修 としての受講
			<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない (いずれかに☑をおつけください)
			<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない (いずれかに☑をおつけください)

※キャリアアップ研修（マネジメント分野）として希望する方は、研修終了後名前入りの受講証を交付いたしますので、楷書で参加者名にはふりがなをご記入ください。

参加者本人以外の方が記入する際、参加者名に誤字がないかご確認ください。

保育園利用者相談室会員以外の方の参加費（3,000円）支払い方法

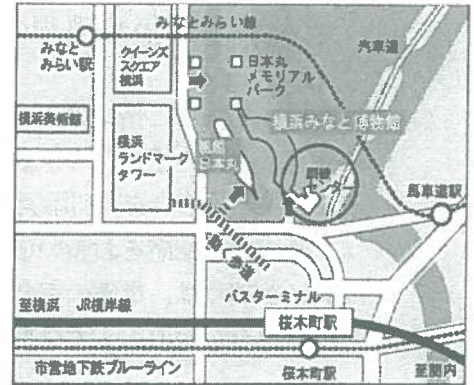
当日持参 銀行振込又は郵便振替

(いずれかに☑をおつけください。)

令和元年度「乳児の発達に応じた保育内容」研修会開催要領

- 1 目的 改定された「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に対する理解を深め、保育士の資質向上及び保育士全体の専門性の向上を図る。

この研修は神奈川県「キャリアアップ研修
(乳児保育分野)」に該当します。



- 2 日時 令和元年 11 月 18 日 (月) 13 時～17 時
受付 12 時 30 分～

- 3 会場 帆船日本丸訓練センター 第 1・2 教室
横浜市西区みなとみらい 2-1-1

TEL045-221-0282

JR 根岸線、横浜市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩 5 分

みなとみらい線「みなとみらい駅」「馬車道駅」から徒歩 5 分

- 4 対象 保育会会員保育所の園長、主任、保育士及び政令市保育協議会会員の保育所等
5 定員 100 名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
6 参加費 保育会会員 1,000 円 それ以外の方 3,000 円

(1)当日会場に持参していただいても結構です。
(2)振込(替)の場合は、次のいずれかの口座をご利用ください。
なお、振込名義人は、民間の方は保育園名にて 11/8 (金) までに手続きください。

[銀行振込] 横浜銀行 横浜駅前支店 普通預金 6016262
一般社団法人 神奈川県保育会 理事長 はぎわらけいぞう 萩原敬三

[郵便振替] 00260-2-68336 一般社団法人 神奈川県保育会

- 7 申込方法 11 月 8 日(金) までに別紙申込書にて Fax 045-311-1837 に申し込み下さい。

- 8 日程

研 修 内 容	
13:15	開会・主催者あいさつ 講義 講師 太田和こども園 園長 藤沼直美氏 (県保育賞受賞者ゆりの会会員)
16:30	質疑・応答
17:30	レポート作成 閉会

- 9 その他 ・この研修はキャリアアップ研修(乳児保育分野)4時間相当に該当します。
修了書希望の方は、残り12時間受講(合計16時間中)下さい。

令和元年 10 月 15 日

保育園園（所）長 様

一般社団法人 神奈川県保育会
理事長 萩原 敬三

令和元年度「乳児の発達に応じた保育内容」研修会の開催について(ご案内)

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

県保育会事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記研修会を、別添開催要領のとおり開催いたしますので、該当の職員のご参加をいただきま
すよう特段のご配慮をお願い申し上げ、ご案内いたします。

なお、参加者は、準備の都合もございますので、令和元年 11 月 8 日（金）までに、下記参加申込書
に必要事項を記載の上、本会事務局宛に FAX (045) 311-1837 又は郵送で申し込みください。

神奈川県保育会事務局

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2

Tel 045-311-8754 Fax 045-311-1837

令和元年度「乳児の発達に応じた保育内容」研修会

(キャリアアップ「乳児保育分野」対象研修)

参加申込書

申込日 ____ 月 ____ 日 市・町名 ____ 市・町

保育園名		電 話	
ふりがな		職 名	
参加者名			
キャリアアップ研修 としての受講	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない (いずれかに☑をおつけください)		
参加費	<input type="checkbox"/> 当日持参 <input type="checkbox"/> 振込(替) (いずれかに☑をおつけください)		
実施日	11月18日(月)		

※キャリアアップ研修(乳児保育分野)として希望する方は、研修終了後名前入りの受講
証を交付しますので、楷書で参加者名等ご記入ください。

参加者本人以外の方が記入する際、参加者名に誤字がないかご確認ください。

令和元年度「組織マネジメント」研修会開催要領

- 1 目的 保育所組織でのマネジメントの理解、メンタルヘルス、働きやすい環境づくり等を学び、円滑な運営と保育の質を高めるために必要なマネジメント能力を身につける。
この研修は神奈川県「キャリアアップ研修（マネジメント分野）」に該当します。
- 2 日時 令和元年 11月 27（水） 13時～17時
受付 12時 30分～
- 3 会場 アミュー厚木市民交流プラザ 7階 amyu スタジオ
厚木市中町 2-12-15
TEL045-212-1034
小田急線本厚木駅徒歩 5分
- 4 対象 保育会会員保育所の園長、主任、保育士及び政令市
保育協議会会員の保育所等
- 5 定員 100名（定員になり次第締め切らせていただきます。）
- 6 参加費 保育会会員 1,000円 それ以外の方 3,000円



- (1)当日会場に持参していただいても結構です。
(2)振込(替)の場合は、次のいずれかの口座をご利用ください。
なお、振込名義人は、民間の方は保育園名にて 11/15（金）までに手続きください。

【銀行振込】 横浜銀行 横浜駅前支店 普通預金 6016262

一般社団法人 神奈川県保育会 理事長 はぎわらけいぞう 萩原敬三

【郵便振替】 00260-2-68336 一般社団法人 神奈川県保育会

- 7 申込方法 11月 20日(水) までに別紙申込書にて **Fax 045-311-1837** に申し込み下さい。

8 日程

	研 修 内 容
13:15	開会・主催者あいさつ 講義 講師 松蔭大学 教授 大沢 裕 氏
16:30	質疑・応答
17:00	レポート作成 閉会

- 9 その他 ・この研修はキャリアアップ研修（マネジメント分野）4時間相当に該当します。
修了書希望の方は、残り 12時間受講（合計 16時間中）ください。

令和元年 10 月 15 日

保育園園（所）長 様

一般社団法人 神奈川県保育会
理事長 萩原 敬三

令和元年度「組織マネジメント」研修会の開催について(ご案内)

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

県保育会事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記研修会を、別添開催要領のとおり開催いたしますので、該当の職員のご参加をいただきま
すよう特段のご配慮をお願い申し上げ、ご案内いたします。

なお、参加者は、準備の都合もございますので、令和元年 11 月 20 日（水）までに、下記参加申込
書に必要事項を記載の上、本会事務局宛に FAX (045) 311-1837 又は郵送で申し込みください。

神奈川県保育会事務局

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2

Tel 045-311-8754 Fax 045-311-1837

令和元年度「乳児の発達に応じた保育内容」研修会

(キャリアアップ「マネジメント分野」対象研修)

参加申込書

申込日 _____ 月 _____ 日 市・町名 _____ 市・町 _____

保育園名		電話	
ふりがな		職名	
参加者名			
キャリアアップ研修 としての受講	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない (いずれかに☑をおつけください)		
参加費	<input type="checkbox"/> 当日持参 <input type="checkbox"/> 振込(替) (いずれかに☑をおつけください)		
実施日	11月27日(水)		

※キャリアアップ研修(マネジメント分野)として希望する方は、研修終了後名前入りの
受講証を交付しますので、楷書で参加者名等ご記入ください。

参加者本人以外の方が記入する際、参加者名に誤字がないかご確認ください。

令和元年度「保育士の育成」研修会開催要領

- 1 目的 保育園には支えてくれるたくさんの資源がある事に気づき、それを活かしていくために、意識的に関わる事の大切さを学び、保育の質の向上のための人材育成に繋がっていく。この研修は神奈川県「キャリアアップ研修(マネジメント分野)」に該当します。
- 2 日時 令和元年 12月9日(月) 13時～17時
受付 12時30分～
- 3 会場 アミュー厚木市民交流プラザ7階 amyu スタジオ
厚木市中町 2-12-15
TEL045-212-1034
小田急線本厚木駅徒歩5分
- 4 対象 保育会会員保育所の園長、主任、保育士及び政令市
保育協議会会員の保育所等
- 5 定員 100名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 6 参加費 保育会会員 1,000円 それ以外の方 3,000円



(1)当日会場に持参していただいても結構です。
(2)振込(替)の場合は、次のいずれかの口座をご利用ください。
なお、振込名義人は、民間の方は保育園名にて11/29(金)までに手続きください。

【銀行振込】 横浜銀行 横浜駅前支店 普通預金 6016262
一般社団法人 神奈川県保育会 理事長 萩原敬三

【郵便振替】 00260-2-68336 一般社団法人 神奈川県保育会

- 7 申込方法 12月2日(月) までに別紙申込書にて **Fax 045-311-1837** に申し込み下さい。
- 8 日程

	研 修 内 容
13:15	開会・主催者あいさつ 講義 講師 洗足こども短期大学 准教授 井上 真理子 氏
16:30	質疑・応答
17:00	レポート作成 閉会

- 9 その他 ・この研修はキャリアアップ研修(マネジメント分野)4時間相当に該当します。
修了書希望の方は、残り12時間受講(合計16時間中)ください。

令和元年 10 月 15 日

保育園園（所）長 様

一般社団法人 神奈川県保育会
理事長 萩原 敬三

令和元年度「保育士の育成」研修会の開催について(ご案内)

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

県保育会事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記研修会を、別添開催要領のとおり開催いたしますので、該当の職員のご参加をいただきま
すよう特段のご配慮をお願い申し上げ、ご案内いたします。

なお、参加者は、準備の都合もございますので、令和元年 12 月 2 日（月）までに、下記参加申込書
に必要事項を記載の上、本会事務局宛に FAX (045) 311-1837 又は郵送で申し込みください。

神奈川県保育会事務局

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2

Tel 045-311-8754 Fax 045-311-1837

令和元年度「乳児の発達に応じた保育内容」研修会

(キャリアアップ「マネジメント分野」対象研修)

参加申込書

申込日 _____ 月 _____ 日 市・町名 _____ 市・町 _____

保育園名		電 話	
ふりがな		職 名	
参加者名			
キャリアアップ研修 としての受講	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない (いずれかに☑をおつけください)		
参加費	<input type="checkbox"/> 当日持参 <input type="checkbox"/> 振込(替) (いずれかに☑をおつけください)		
実施日	12月9日(月)		

※キャリアアップ研修(マネジメント分野)として希望する方は、研修終了後名前入りの
受講証を交付しますので、楷書で参加者名等ご記入ください。

参加者本人以外の方が記入する際、参加者名に誤字がないかご確認ください。

令和元年度 「乳児への適切なかわり」研修会開催要領

- 1 目的 改訂された「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に対する理解を深め、保育士の資質向上及び保育士全体の専門性の向上を図る。
この研修は神奈川県「キャリアアップ研修（乳児保育分野）」に該当します。

- 2 日時 令和元年 12 月 17 日（火）
13 時から 17 時まで 受付 12 時 30 分～

- 3 会場 神奈川県民ホール 6 階大会議室

横浜市中区山下町 3-1

TEL 045-662-5901

みなとみらい線日本大通り駅 3 番出口より徒歩約 8 分

JR 根岸線・市営地下鉄関内駅からは徒歩約 15 分



- 4 対象 会員保育所等勤務の園長、主任、保育士及び政令市保育協議会会員の保育所等
5 定員 100 名（定員になり次第締め切らせていただきます。）
6 参加費 神奈川県保育会会員 1,000 円 それ以外の方 3,000 円

(1)当日会場に持参していただいても結構です。
(2)振込(替)の場合は、次のいずれかの口座をご利用ください。
なお、振込名義人は、民間の方は保育園名にて、12/5（木）迄に手続きください

[銀行振込] 横浜銀行 横浜駅前支店 普通預金 6016262
一般社団法人 神奈川県保育会 理事長 はぎわらけいぞう 萩原敬三

[郵便振替] 00260-2-68336 一般社団法人 神奈川県保育会

- 7 申込方法 12 月 9 日(月)までに別紙申込書にて **Fax 045-311-1837** に申し込み下さい。

- 8 日程

	研 修 内 容
13:15	開会・主催者あいさつ 講義 講師 和順保育園 保育主事 本間 洋子 氏（県保育賞受賞者ゆりの会会員）
16:30	質疑・応答 レポート作成
17:00	閉 会

- 9 その他 この研修はキャリアアップ研修（乳児保育分野）合計 16 時間中の 4 時間相当に該当します。

令和元年 10 月 15 日

保育園園（所）長 様

一般社団法人 神奈川県保育会
理事長 萩原 敬三

令和元年度「乳児への適切なかかわり」研修会の開催について(ご案内)

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

県保育会事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記研修会を、別添開催要領のとおり開催いたしますので、該当の職員のご参加をいただきま
すよう特段のご配慮をお願い申し上げ、ご案内いたします。

なお、参加者は、準備の都合もございますので、令和元年 12 月 9 日（月）までに、下記参加申込書
に必要事項を記載の上、本会事務局宛に FAX (045) 311-1837 又は郵送で申し込みください。

神奈川県保育会事務局

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2

Tel 045-311-8754 Fax 045-311-1837

令和元年度「乳児の発達に応じた保育内容」研修会

(キャリアアップ「乳児保育分野」対象研修)

参加申込書

申込日 月 日 市・町名 市・町

保育園名		電話	
ふりがな		職名	
参加者名			
キャリアアップ研修 としての受講	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない (いずれかに☑をおつけください)		
参加費	<input type="checkbox"/> 当日持参 <input type="checkbox"/> 振込(替) (いずれかに☑をおつけください)		
実施日	12月17日(火)		

※キャリアアップ研修(乳児保育分野)として希望する方は、研修終了後名前入りの受講
証を交付しますので、楷書で参加者名等ご記入ください。

参加者本人以外の方が記入する際、参加者名に誤字がないかご確認ください。

令和元年度 「乳児保育の意義と指導計画及び記録と評価」研修会開催要領

- 1 目的 改訂された「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に対する理解を深め、保育士の資質向上及び保育士全体の専門性の向上を図る。
この研修は神奈川県「キャリアアップ研修（乳児保育分野）」に該当します。

- 2 日時 令和2年1月10日（金）
13時から17時まで 受付 12時30分～

- 3 会場 神奈川県民ホール 6階大会議室

横浜市中区山下町3-1

TEL 045-662-5901

みなとみらい線日本大通り駅3番出口より徒歩約8分

JR根岸線・市営地下鉄関内駅からは徒歩約15分



- 4 対象 会員保育所等勤務の園長、主任、保育士及び政令市保育協議会会員の保育所等
5 定員 100名（定員になり次第締め切らせていただきます。）
6 参加費 神奈川県保育会会員 1,000円 それ以外の方 3,000円

(1)当日会場に持参していただいても結構です。
(2)振込(替)の場合は、次のいずれかの口座をご利用ください。
なお、振込名義人は、民間の方は保育園名にて、12/26（木）迄に手続きください

[銀行振込] 横浜銀行 横浜駅前支店 普通預金 6016262

一般社団法人 神奈川県保育会 理事長 はぎわらけいぞう 萩原敬三

[郵便振替] 00260-2-68336 一般社団法人 神奈川県保育会

- 7 申込方法 12月26日(木)までに別紙申込書にて Fax 045-311-1837 に申し込み下さい。

- 8 日程

	研 修 内 容
13:15	開会・主催者あいさつ 講義 講師 岩瀬保育園 主任保育士 富田 弘美 氏（県保育賞受賞者ゆりの会会員）
16:30	質疑・応答 レポート作成
17:00	閉会

- 9 その他 この研修はキャリアアップ研修（乳児保育分野）合計16時間中の4時間相当に該当します。

令和元年 10 月 15 日

保育園園（所）長 様

一般社団法人 神奈川県保育会
理事長 萩原 敬三

令和元年度「乳児保育の意義と指導計画及び記録と評価」研修会の開催について(ご案内)

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

県保育会事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記研修会を、別添開催要領のとおり開催いたしますので、該当の職員のご参加をいただきま
すよう特段のご配慮をお願い申し上げ、ご案内いたします。

なお、参加者は、準備の都合もございますので、令和1年12月26日(木)までに、下記参加申込
書に必要事項を記載の上、本会事務局宛に FAX (045) 311-1837 又は郵送で申し込みください。

神奈川県保育会事務局

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2

Tel 045-311-8754 Fax 045-311-1837

令和元年度「乳児の発達に応じた保育内容」研修会

(キャリアアップ「乳児保育分野」対象研修)

参加申込書

申込日 月 日 市・町名 市・町

保育園名		電話	
ふりがな		職名	
参加者名			
キャリアアップ研修 としての受講	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない (いずれかに☑をおつけください)		
参加費	<input type="checkbox"/> 当日持参 <input type="checkbox"/> 振込(替) (いずれかに☑をおつけください)		
実施日	1月10日(金)		

※キャリアアップ研修(乳児保育分野)として希望する方は、研修終了後名前入りの受講
証を交付しますので、楷書で参加者名等ご記入ください。

参加者本人以外の方が記入する際、参加者名に誤字がないかご確認ください。

令和元年度 第2回保育園利用者相談室研修会開催要領 (苦情解決の取り組みⅡ研修会)

- 1 目的 保育園利用者からの意見・要望・苦情等に的確に対応するノウハウを蓄積して、保育園に対する利用者の信頼度を高めていくとともに、保育サービスの質の一層の向上を図ることを目的として、研修会を開催します。

当研修は、神奈川県指定キャリアアップ研修(マネジメント分野)に位置づけられています。

- 2 開催日時 令和2年1月15日(水)
13時～17時まで
- 3 会場 かながわ県民ホール6階 大会議室
横浜市中区山下町3-1
みなとみらい線日本大通り駅徒歩8分
JR根岸線市営地下鉄関内駅徒歩15分
Tel 045-662-5901(代表)



4 研修内容及び講師

- (1) 研修テーマ 保育所で発生した保護者からの複数の相談・苦情事例をテーマに参加者それぞれが原因や改善策を考え、グループ討議を踏まえて、その成果発表を行う。

- (2) 助言者 保育所利用者相談室 第三者委員
- | | |
|---------|-------------------|
| 加籾芳明 先生 | 三浦しらとり園総括施設長 |
| 桐生行雄 先生 | 神奈川県民生委員児童委員協議会理事 |
| 宮田丈乃 先生 | 神奈川県保育会副理事長 |
| 小川 晃 先生 | 神奈川県保育会前監事 |

(3) スケジュール

12:30	受付	14:50	グループ発表
13:00	開会、主催者挨拶、オリエンテーション	16:00	第三者委員から総評、助言
13:10	グループ討議	16:20	レポート作成
14:30	休憩	16:50	レポート提出、閉会

5 対象及び参加費、定員

(1) 対象及び参加費

- 県保育会保育園利用者相談室会員保育所の園長等……参加費は無料
- 県保育会会員で保育園利用者相談室会員でない保育所の園長等、政令市保育協議会会員の保育所等……参加費は有料(1人につき3,000円を徴収します。)

・参加費は当日持参か振込(替)をお願いいたします。

なお、振込(替)の場合、振込名義人は民間の方は保育園名にて1/8(水)迄に手続きください。

<銀行振込> 横浜銀行 横浜駅前支店 普通預金 6016262

一般社団法人 神奈川県保育会

理事長 萩原 敬三(ハギワラ ケイゾウ)

<郵便振替> 00260-2-68336 一般社団法人 神奈川県保育会

- (2) 定員 100名程度(定員になり次第締め切らせていただきます。)

- 6 申込方法 令和2年1月8日(水)までに、別紙申込書でお申し込みください。

令和元年 10 月 11 日

一般社団法人神奈川県保育会 会員園長 様

一般社団法人神奈川県保育会
理事長 萩原 敬三

令和元年度 第2回保育園利用者相談室研修会（苦情解決の取り組みⅡ）
開催について(通知)

時下、会員の皆様方には、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。
日頃から、当保育会事業の推進につきましては、格別のご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、保育園利用者相談室は、苦情解決制度により、利用者の満足を図りながら、保育の質の向上を図るとともに、利用者の信頼度を高める義務も担っておりますが、今般それらの趣旨を踏まえ、別添開催要領により研修会を開催することといたしました。

なお、保育園利用者相談室規程第3条第2項及び第4条第3項に基づく研修となります。
また、保育園利用者相談室に加入していない保育会会員の皆様方も、有料で参加できることとしておりますので、別添開催要領をご覧の上、積極的なご参加をお願いいたします。

(問合せ先) 一般社団法人神奈川県保育会事務局

Tel 045-311-8754

神奈川県保育会事務局 行き

Fax 045-311-1837

保育園利用者相談室研修会（苦情解決の取り組みⅡ）
（キャリアアップ（マネジメント分野）対象研修）
1/15（水）開催 参加申込書

市町村名 _____

保育園名 _____

Tel _____

参加者氏名・職名

ふりがな 氏名	職名	キャリアアップ研修としての受講
		<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
		<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

(いずれかに☑をおつけください)

※キャリアアップ研修（マネジメント分野）として希望する方は、研修終了後名前入りの受講証を交付いたしますので、楷書で参加者名にはふりがなをご記入ください。

参加者本人以外の方が記入する際、参加者名に誤字がないかご確認ください。

保育園利用者相談室会員以外の方の参加費（3,000円）支払い方法

当日持参 銀行振込又は郵便振替

(いずれかに☑をおつけください。)

令和元年度「保育所における食事の提供ガイドライン」研修会開催要領

- 1 目的 保育所での食育の必要性や大切さ、保育指針に基づく食事の質の向上と提供ガイドラインの理解、栄養に関する基礎知識を学び、意識を高め、保育の向上を図る。
この研修は神奈川県「キャリアアップ研修（食育アレルギー対応分野）」に該当します。

- 2 日時 令和2年2月14日（金）
午後1時から午後5時00分
受付 午後12時30分～

- 3 会場 帆船日本丸訓練センター第1・2教室
横浜市西区みなとみらい2-1-1

TEL 045-221-0282

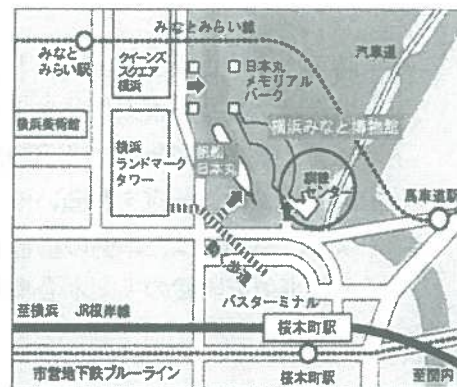
JR 根岸線・市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩約5分

みなとみらい線「みなとみらい駅」「馬車道駅」から徒歩約5分

- 4 対象 会員保育所等勤務の調理担当、栄養士、園長等

- 5 定員 100名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

- 6 参加費 神奈川県保育会会員 1,000円 それ以外の方 3,000円



- (1)当日会場に持参していただいても結構です。
(2)振込(替)の場合は、次のいずれかの口座をご利用ください。
なお、振込名義人は、民間の方は保育園名にて1/31（金）までに手続きください

【銀行振込】 横浜銀行 横浜駅前支店 普通預金 6016262

一般社団法人 神奈川県保育会 理事長 はぎわらけいぞう 萩原敬三

【郵便振替】 00260-2-68336 一般社団法人 神奈川県保育会

- 7 申込方法 令和2年1月31日(金)までに別紙申込書にて Fax 045-311-1837 に申し込み下さい。

- 8 日程

研 修 内 容	
13:00	開会・主催者あいさつ
	講義 講師 東京家政学院大学 教授 酒井 治子 氏
	質疑応答
17:00	閉会

令和元年 10月 15日

保育園園（所）長 様

一般社団法人 神奈川県保育会
理事長 萩原 敬三

令和元年度「保育所における食事の提供ガイドライン」研修会の開催について(ご案内)

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

県保育会事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記研修会を、別添開催要領のとおり開催いたしますので、該当の職員のご参加をいただきま
すよう特段のご配慮をお願い申し上げ、ご案内いたします。

なお、参加者は、準備の都合もございますので、令和2年1月31日（金）までに、下記参加申込書
に必要事項を記載の上、本会事務局宛に FAX (045) 311-1837 又は郵送で申し込みください。

神奈川県保育会事務局

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2

Tel 045-311-8754 Fax 045-311-1837

令和元年度「乳児の発達に応じた保育内容」研修会
(キャリアアップ「食域アレルギー対応分野」対象研修)
参加申込書

申込日 _____ 月 _____ 日 市・町名 _____ 市・町 _____

保育園名		電 話	
ふりがな		職 名	
参加者名			
キャリアアップ研修 としての受講	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない (いずれかに☑をおつけください)		
参加費	<input type="checkbox"/> 当日持参 <input type="checkbox"/> 振込(替) (いずれかに☑をおつけください)		
実施日	2月14日(金)		

※キャリアアップ研修(食域アレルギー対応分野)として希望する方は、研修終了後名前
入りの受講証を交付しますので、楷書で参加者名等ご記入ください。

参加者本人以外の方が記入する際、参加者名に誤字がないかご確認ください。

事務所移転検討資料

移転先情報

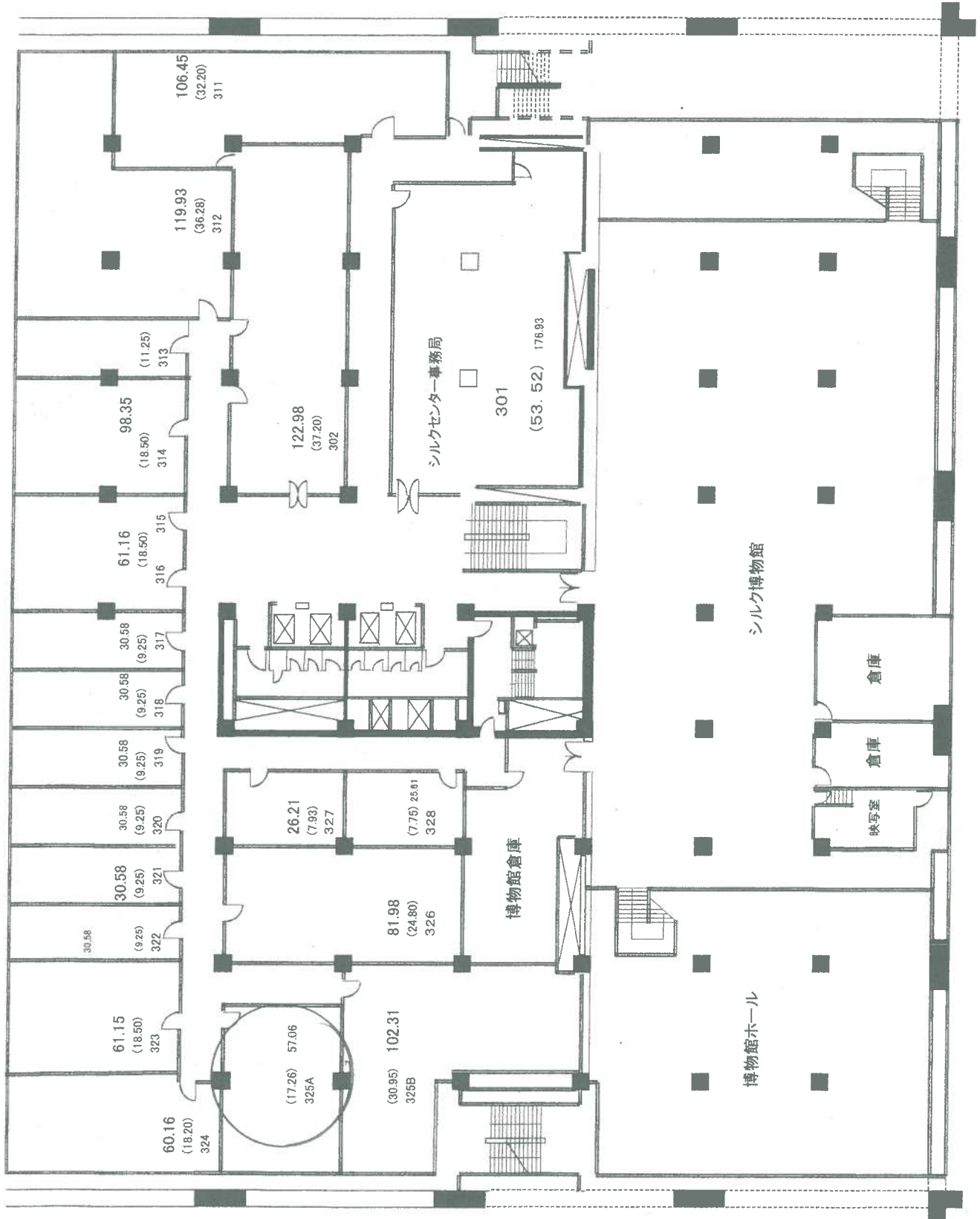
- ・一般財団法人 シルクセンター国際貿易観光会館
横浜市中区山下町1番地 シルクセンタービル 3階325A号室
- ・面積 57.06㎡(17.6坪)(6.4m×8.915m)

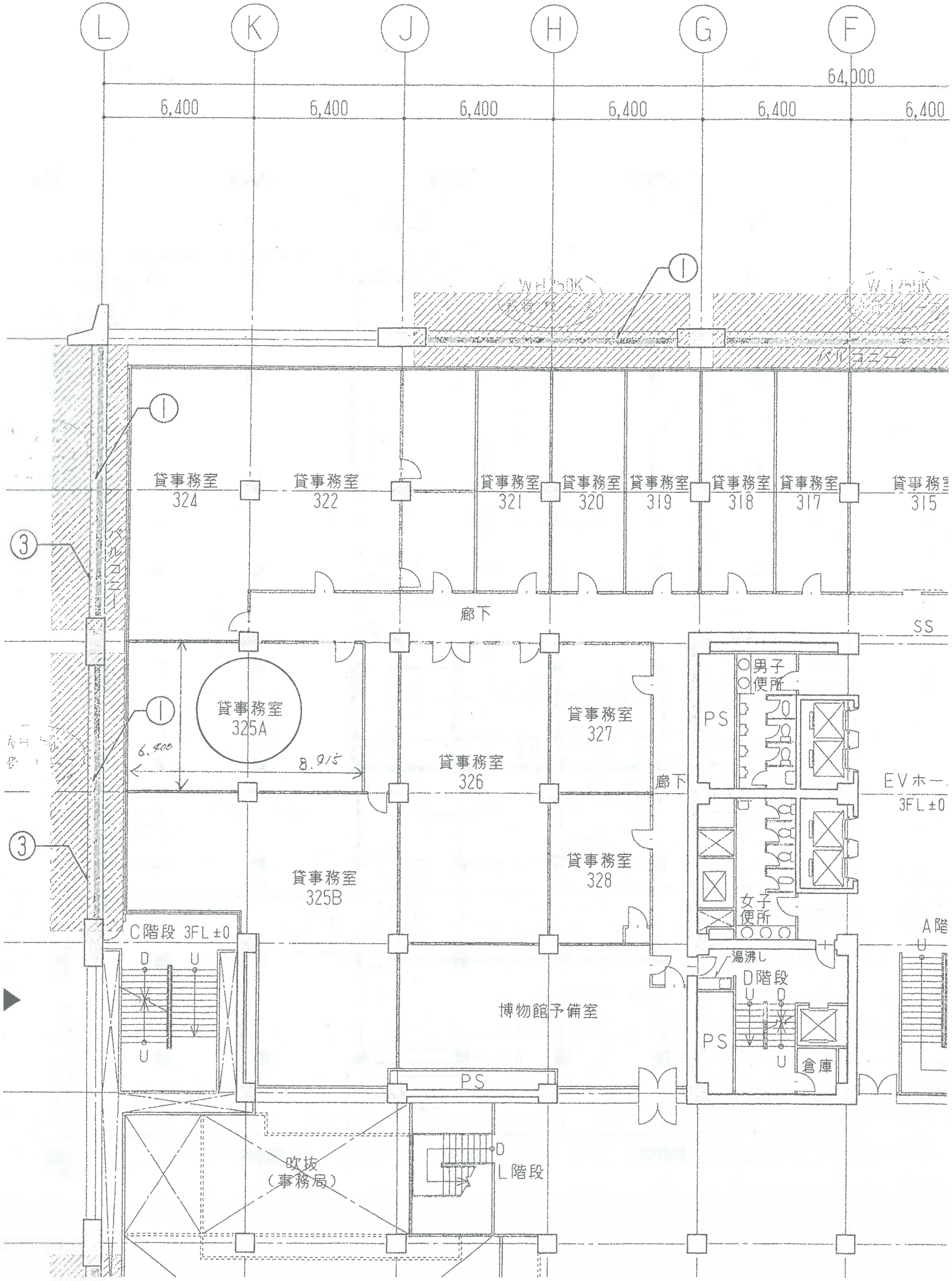
区分	社会福社会館	シルクセンター	
建物使用料	52,380	302,352	
	実績	'@75,588×4月(12月から)	
通信運搬費	91,953	80,000	
		'@20,000×4月	
電話・FAX PCプロバイダー	実績	20,000	
		'@ 5,000×4月	
光熱水費	158,382	80,000	
	実績	'@20,000×4月	
コピー・FAXレンタル	13,000	120,000	
		'@30,000×4月	
仮合計	315,715	482,352	

検討事項

- 移転時期
 - ①12月1日契約可能（事前備品搬入は11月中旬から可能）
※10月中旬に空調設備交換工事あり）
 - ②現事務所と新事務所を重複して貸借
 - ③法人事務所の登記所在地変更時期(3月総会后)
- 移転する物品
 - ①備品 事務局 机・椅子 3組
 - ②備品 事務局 書類ロッカー
 - ③書類 量については調査必要
 - ④物品 かなわんヌイグルミ、胸章等量について調査
- 購入する物品
 - ①備品等の物品棚
 - ②パソコン
 - ③FAX
 - ④コピー機
- 移転調整先
 - ①神奈川県社会福祉協議会
 - ②神奈川県庁

3階平面図(略図)





全保協ニュース

〔協議員情報〕

全 国 保 育 協 議 会

TEL. 03-3581-6503 FAX. 03-3581-6509

ホームページアドレス [<http://www.zenhokyo.gr.jp>]

◆通知「令和元年 10 月以降の公定価格の単価案の見直しについて」が発出される（内閣府・厚生労働省）

令和元年9月18日、通知「令和元年10月以降の公定価格の単価案の見直しについて」が発出されました。

【厚生労働省説明資料から全保協事務局抜粋】

10月以降の私立保育所等における副食費の取扱いについて

10月以降の私立保育所等の公定価格（3～5歳）について、副食費として約5,180円を減額する一方で、これまで保育料に含まれていた副食費（4,500円）との差額分（約680円）の財源を活用し、加算の拡充を行うこととしていたが、

- ・ 約5,180円の減額を撤回し、月額4,500円の減額とするとともに、
- ・ 栄養管理加算とチーム保育推進加算の充実については本年10月の実施を見送る

こととする。

※今後、年末に向けて子ども・子育て会議において議論を行う公定価格全体の議論の中で改めて検討を行う。

これまでの子ども・子育て会議において説明され、10月以降に予定されていた、公定価格の「栄養管理加算」の拡充、「チーム保育推進加算」の要件緩和の実施について、本全保協ニュースにおいてもお知らせしてまいりましたが、10月からの実施は見送りとされています。

本日9月18日、保育三団体協議会は、本件に関して「緊急のお知らせ」を発出しております。併せてご確認をお願いいたします。

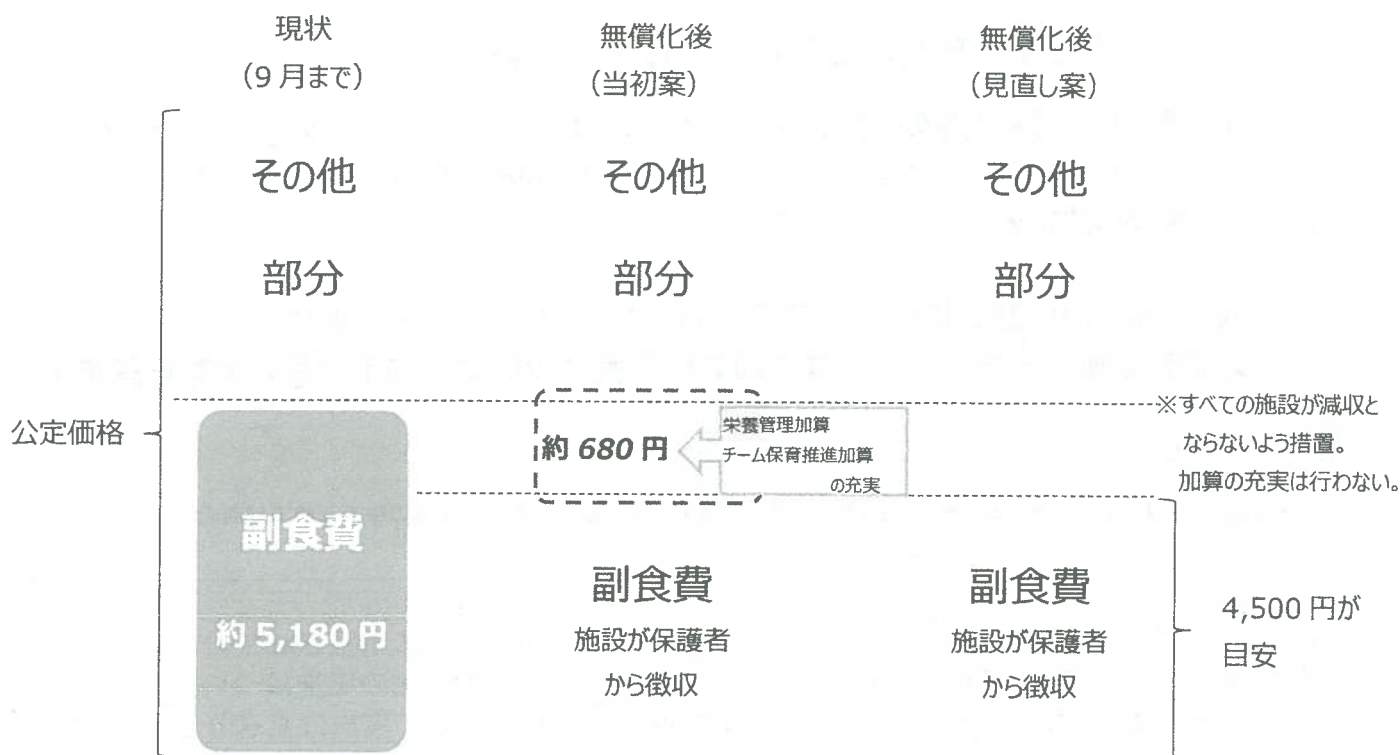
詳細は、別添の資料をご参照ください。

10月以降の私立保育所等における副食費の取扱いについて

10月以降の私立保育所等の公定価格(3~5歳)について、副食費として約5,180円を減額する一方で、これまで保育料に含まれていた副食費(4,500円)との差額分(約680円)の財源を活用し、加算の拡充を行うこととしていたが、

- ・約5,180円の減額を撤回し、月額4,500円の減額とするとともに、
- ・栄養管理加算とチーム保育推進加算の充実については本年10月の実施を見送ることとする。

※今後、年末に向けて子ども・子育て会議において議論を行う公定価格全体の議論の中で改めて検討を行う。



全保協ニュース

〔協議員情報〕

全 国 保 育 協 議 会

TEL. 03-3581-6503 FAX. 03-3581-6509

ホームページアドレス〔<http://www.zenhokyo.gr.jp>〕

—今号の目次—

- ◆ 第44回子ども・子育て会議が開催される…………… 1
- ◆ 厚生労働省 令和2年度予算 概算要求…………… 4
- ◆ 耐火性能に関する基準の改正後も保育所・幼保連携型認定こども園の耐火性能基準の規定に変更はありません（内閣府・厚生労働省）…………… 5
- ◆ 提言「今後の子供の貧困対策の在り方について」が公表（内閣府）…………… 6
- ◆ 「第15回権利擁護・虐待防止セミナー」開催（全社協・政策企画部）…………… 7

◆第44回子ども・子育て会議が開催される

令和元年8月29日、標記会議が開催され、本会から森田信司副会長が出席しました。

「子ども・子育て支援新制度施行後5年の見直しにおいて今後検討が必要と考えられる事項」が示されました。

本会は、下記の意見書を提出しました。特に、前記事項の「7.その他」(4)に示されている「民間保育所等における0～2歳児の給食の外部搬入規制緩和」について、断固反対を表明しています。これは、平成29年度に本会と全国保育士会が反対の意見書を構造改革特別区域推進本部評価・調査委員会に提出した時から現在も考え方が変わるものではありません。

次回の会議開催は、9月27日に予定されています。新制度施行後5年の見直しの各論点について議論が開始される予定です。

会議資料・動画については、内閣府ホームページをご参照ください。

■内閣府ホームページ

https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/kodomo_kosodate.html

子ども・子育て会議（第 44 回）
全国保育協議会 森田信司 提出

全国保育協議会 意見

1. 公定価格について丁寧な議論をお願いします

公定価格は「積み上げ方式」で算定されています。今後も「積み上げ方式」を堅持していただくとともに、人事院勧告に沿って人件費を引き上げるなど、保育士等の処遇改善をさらに進めるよう、引き続きご配慮ください。

また「土曜日開所の取扱い」について、慎重に議論していただくよう、お願いします。保育所・幼保連携型認定こども園等は、土曜日の開所が原則とされています。これは、地域の社会資源として保育所・認定こども園が児童福祉施設の役割を担い、地域の教育・保育、子育てニーズへ対応してきた経緯によるものです。保護者の勤務体系・労働時間により、土曜日の開所を必要としている子ども・保護者も多くいます。

このような状況をふまえ、「保育所等の運営実態に関する調査結果」の「土曜日の利用児童数及び勤務する職員数」の平均値のみをもって、土曜日開所の取扱いを議論しないでください。

教育・保育の現場で働くすべての人に「働き方改革」が必要です。現在の公定価格に含まれている人件費は十分ではなく、週 40 時間の労働に対応しているとは言えません。月曜日から土曜日までの開所に対応する適切な人員配置ができるよう、公定価格の人件費の積み上げについて検討をお願いします。

2. 「民間保育所等における 0～2 歳児の給食の外部搬入規制緩和」に断固反対します

本会は、全国保育士会とともに、0～2 歳児の給食の外部搬入の規制緩和に反対します。

構造改革特別区域において、公立保育所等に 0～2 歳児の給食の外部搬入が認められていますが、全国展開はなされていません。本会・全国保育士会は、平成 29 年 8 月 8 日に、「構造改革特別区域推進本部 評価・調査委員会」に全国展開への反対意見を提出しており、その考え方は現在も変わりません。

次の意見（平成 29 年 8 月 8 日「構造改革特別区域推進本部 評価・調査委員会」提出）により、本会・全国保育士会は、給食の外部搬入の規制緩和に断固反対します。

全国保育協議会・全国保育士会（「構造改革特別区域推進本部 評価・調査委員会」平成 29 年 8 月 8 日提出）

意見書

3 歳未満児への給食外部搬入容認に、断固反対します。

食が、子どもの生命の維持・発育には欠かせないものであり、心身の成長に大きく関連している

ことは言うまでもありません。すべての子どもの健やかな育ちを保障する保育の観点から、また、子どもは体調の変動も大きく、個別の対応は必要不可欠です。

とくに、発達の個人差が大きい3歳未満児、体調不良児、対応によっては命にかかわる食物アレルギー児等への食事提供においては、園内多職種連携のもと、臨機応変かつ適切な運用が必須です。

これを担保する自園調理の優位性は明らかであり、多くの弊害の解決が困難な3歳未満児への給食外部搬入は、断じて認めるべきではありません。

まして、子どもへの食事提供の意義をふまえれば、保育所・認定こども園等における食事の提供体制が、効率性や経済的優位性のみの視点だけで検討され、子どもの適切な成長・発達を阻害させることは許されません。

自園調理の優位性

全国保育士会では、平成27年度に調査「食事の提供体制と食育に関する調査」(全国9市区町村・327施設回答)を実施し、5つの自園調理の優位性を導きました。

1. 顔の見える関係のなかで、よりきめ細やかな個別対応が可能

- 3歳未満児やアレルギー児に対しては、一人ひとりの発達の差や、月次の途中入園、医師の指導も含めたアレルギー指示書の変更等をふまえた、施設内での迅速な対応が必須です。保育に携わるすべての職員による直接的なかかわりや連携のなかで、毎日の子どもの体調や生活状況に応じた、献立の作成や個別の食事対応が自園調理では可能です。
- 一方、外部搬入では、離乳期の細かな調整や体調の急変及び生活リズムの変化への対応の困難さ、搬入元の調理員が子どもの様子を把握しきれていないとする等の実態が明らかとなっています【※】。柔軟な個別対応を基本とする、子どもへの食事提供の意義を鑑みれば、外部搬入の必要性は感じられません。

※ 平成28年度 厚生労働省委託事業 保育所等における食事提供体制に係る調査研究事業より

2. 生きる力と豊かな心を育てる食育につながります

- 食材とのふれあいや体験(調理保育、食育)は、たとえば、魚をさばく様子を見て命の大切さに気づくことのほか、ことば・数・量・重さ・科学的な発見等さまざまな学びの機会につながる、教育的な側面も強くもちあわせており、子どもの適切な成長・発達につながります。

3. より家庭的な、五感を刺激する環境をつくり出します

- 家庭での食体験の減少や、子ども本人の偏食・好き嫌いが顕著となっている近年において、調理をする過程や雰囲気がかかること、調理中の音が聞こえ、おいがすること、食卓に届くまでの期待感や適切な温度で出来たての料理が提供されること等、より家庭に近い環境のなかで、子どもの五感を刺激すること

が重要です。食事に至るまでの連続性をもった保育は、自園調理でしか成しえ
ません。

4. 生きた体験を通して、子どもの食をはじめとしたさまざまな興味や関心を引き出します

- 食材にふれる機会を積極的に増やしていくことは、食をはじめとし、生き物、季節、土地、文化などに対する、さまざまな興味や関心を引き出すことにつながります。
- 日常口にする食べ物が、どのように栽培・収穫され、どのような形や色で、さらにその食材が誰によって、どのように調理され、どのように盛り付けられるか等、一連の生きた体験を、自園調理では優位に行うことができます。

5. 安心・安全な食の提供のための責任体制や、リスクマネジメントが明確になります

- 各園における子どもの発達状況に基づいた栄養管理のもと、栄養士等が献立の作成にかかわり、調理員が適切に調理した食事の提供が可能です。
- リスクマネジメントの面からみても、施設自らが管理する調理室での調理であり、食材の仕入れから調理・配膳まで、一貫して過程を現認できる体制が保障できます。
- 一方、外部搬入においては、搬入元との文書による取り交わしが行われていないことや、3歳未満児に対する個別対応の困難さからアレルギー児や体調不良児へ症状に応じた対応が行えない現状、さらには、業務効率化やコスト削減の効果が得られていないことも明らかとなっています【※】。
- 業務効率化の効果が薄く、子どもの命を守る責任体制や衛生・安全管理が不十分である弊害も解消されないなか、外部搬入の意義は全く感じられません。

以上

◆厚生労働省 令和2年度予算 概算要求

令和元年8月29日、厚生労働省は令和2年度予算の概算要求を公表しました。

厚生労働省予算として1,295億円(令和元年度予算1,076億円)が計上されています(内閣府予算は1兆5,347億円+事項要求、令和元年度予算1兆5,346億円)。

保育所等整備交付金(994億円、令和元年度予算787億円)は、「子育て安心プラン」に基づき、意欲ある自治体への補助率のかさ上げ(1/2→2/3)が継続されます。

→資料1 スライド2・25

保育所等改修費等支援事業は拡充され、これまで定員の規模に関わらず一律であった補助基準額が定員の規模に応じた額に見直されます。

→資料1 スライド3・26

保育士宿舎借り上げ支援事業は拡充されるとともに、要件が緩和されます。有効求人倍率及び待機児童の要件を撤廃し、10年目までのすべての常勤保育士に拡充。また、全国一律の補助基準額から市区町村単位の金額設定に変更されます。

→資料1 スライド5・27

保育体制強化事業は拡充され、保育支援者の業務に「園外活動時の見守り等」を追加し、保育所外での活動において、子どもが集団で移動する際の安全確保を図ることとされます。

→資料1 スライド6・28

保育所等におけるICT化推進等事業（新規）は、保育士の負担軽減を図るため、保育に関する計画・記録や保護者との連絡、子どもの登降園管理等の業務のICT化を行うために必要なシステムの導入費用や、外国人の子どもとの保護者との通訳などのための機器の購入に係る費用の一部に補助されます。

→資料1 スライド8・29

医療的ケア児保育支援モデル事業は拡充され、看護師の配置や保育士の喀たん吸引等の研修受講支援とともに、新たに医療的ケア児の受け入れを判断するための検討会の設置等のための事業費補助が創設されます。

→資料1 スライド11・30

保育所等の質の確保・向上のための取組強化事業は拡充され、子どもが集団で移動する際の安全確保を図るため、保育所等に勤務する職員や巡回指導員を対象とした研修の内容に園外活動時における安全対策を加えるとともに、巡回支援指導の内容に園外活動等における安全対策の実地指導等が加えられます。

→資料1 スライド17・32

厚生労働省子ども家庭局の概算要求は、厚生労働省ホームページに掲載されている資料をご参照ください。保育課の概算要求説明資料は別添の資料1をご参照ください。

■厚生労働省ホームページ 令和2年度各部局の概算要求

<https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/20syokan/03.html>

◆耐火性能に関する基準の改正後も保育所・幼保連携型認定こども園の耐火性能基準の規定に変更はありません（内閣府・厚生労働省）

建築基準法の一部を改正する法律（平成30年法律第67号）により、同法第27条第1項の耐火建築物に関する規定に適合しなければならない建築物から、3階建てで延べ面積が200㎡未満のものが除かれることとなりました。

しかしながら、保育所・認定こども園などは、「火災時の避難に通常よりも時間を要すると考えられる小学校就学前の子どもを確保する必要があること」、「学校かつ児童福祉施設としての性質を有する幼保連携型認定こども園については、平成27年度の制度創設

当時から、幼稚園の基準又は保育所の基準のより高い方を原則適用することとしていること」から、これまでの耐火性能基準が維持されます。

具体的には、現行の基準が維持され（変更はなく）、保育室等を2階に設ける場合は耐火建築物又は準耐火建築物（旧簡易耐火建築物を除く。）、3階以上に設ける場合は耐火建築物であることが求められます。

別添の資料 2-1 は厚生労働省令（保育所の基準）の改正、資料 2-2 は内閣府令（幼保連携型認定こども園）の改正をご参照いただき、改正内容の詳細は、資料 2-3 の説明資料（幼保連携型認定こども園）にてご確認ください。

◆提言「今後の子供の貧困対策の在り方について」が公表（内閣府）

令和元年8月7日、内閣府が開催する「子供の貧困対策に関する有識者会議」において、提言「今後の子供の貧困対策の在り方について」が公表されました。

この有識者会議は、平成25年6月に成立した「子どもの貧困対策の推進に関する法律」第8条に基づく「子どもの貧困対策に関する大綱」に掲げられている施策の実施状況や対策の効果等を検証・評価し、子供の貧困対策についての検討を行う会議です。

このたび、子どもの貧困対策に関する基本的な方針や分野ごとの取り組みの方向性等の提言として「今後の子供の貧困対策の在り方について」が公表されました。提言を踏まえ、今年度末までに新たな大綱が決定される予定です。

本提言においては、子どもの貧困対策を講じるにあたって踏まえるべき視点として、下記の3点が示されています。

- ① 親の妊娠・出産期から子どもの社会的自立までの切れ目のない支援
- ② 地方公共団体による取り組みの充実
- ③ 支援が届かない、または届きにくい子ども・家族への支援

とくに、「①親の妊娠・出産期から子どもの社会的自立までの切れ目のない支援」においては、「乳幼児期から義務教育へ、更には高校教育段階へと、問題発見と支援を切れ目なくつなげていくべき」とされています。

乳幼児期の子どもや保護者と日常的に接する保育所・認定こども園等においては、生活困窮を含めた家庭内の課題を早期に把握できる可能性があり、保護者が必要な支援制度を知らないこともあり得ることから、適切な支援へつないでいくとともに、自治体や学校、関係機関と連携して切れ目のない支援を提供していくことが求められます。

また、保育所・認定こども園等は、子どもの健全な育ちや家庭での親の子育て環境に大きな影響を与えることから、保育所・認定こども園の充実が貧困の世代間連鎖を断ち切ることにもつながるとしたうえで、保育士等が長く働き続けられるよう処遇改善を行うなど、質の高い幼児教育・保育が確保できる仕組みを構築していくべきであるとも提言しています。

提言全体（および提言の概要版）は下記ホームページに掲載されています。

■内閣府ホームページ「子供の貧困対策に関する有識者会議について」
<https://www8.cao.go.jp/kodomonohinkon/youushikisya/index.html>

◆「第 15 回権利擁護・虐待防止セミナー」開催 (全社協・政策企画部)

全国社会福祉協議会は、令和元年 9 月 24 日に「第 15 回権利擁護・虐待防止セミナー」を開催します。

本セミナーは、子どもの権利条約採択から 30 年、日本が批准してから 25 年を迎えるにあたり、「今、あらためて『子どもの権利』について考える～子どもの権利条約の採択から 30 年を迎えて～」をテーマに、講演や基調説明、シンポジウムを通じてこれまでの取り組みを振り返るとともに、関係者等による子どもの権利擁護の実践について共有し、地域の子育て支援のなかで何ができるか考えます。詳細は、別添の資料 3 をご参照ください。

全国保育協議会の会員の方のご参加をお待ちしております。
開催要綱は、全国社会福祉協議会ホームページに掲載しています。

■全国社会福祉協議会ホームページ
https://www.shakyo.or.jp/news/20190722_seminar.pdf

全保協ニュース

〔協議員情報〕

全 国 保 育 協 議 会

TEL. 03-3581-6503 FAX. 03-3581-6509

ホームページアドレス [<http://www.zenhokyo.gr.jp>]

—今号の目次—

- ◆ 第 63 回全国保育研究大会（広島市大会）
ご参加のお申し込みを継続して受付しております
—第 10 分科会のプログラム、第 11 分科会フリー発表分科会の
テーマ・発表者が決定しました…………… 1
- ◆ 令和元年度「社会福祉施設等調査」ご協力をお願い（厚生労働省） …… 4
- ◆ 「児童福祉週間」標語の募集（厚生労働省） …… 4

◆第 63 回全国保育研究大会（広島市大会） ご参加のお申し込みを継続して受付しております —第 10 分科会のプログラム、第 11 分科会フリー発 表分科会のテーマ・発表者が決定しました

全国保育研究大会は、令和元年 11 月 13 日～15 日、広島市において開催いたします。

すでにお申し込みをいただいているかたには重ねてのご案内となりますが、締切日の 9 月 20 日以降も引き続き申し込みを受け付けいたしますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

2 日目には、下記の分科会を開催いたします。なお、第 10 分科会（特別分科会）「これからの保育に必要な視点」では、ナウトピックを盛り込んだ講義等を展開します。第 11 分科会フリー発表分科会では多彩な研究発表が行われます。

3 日目の記念講演は、京都大学 名誉教授 鯨岡 峻 氏に「保育することをとおして、子どもも保育者も育つために」をテーマにご講演いただきます。

「すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして」保育実践の一層の向上をめざして開催いたします。お申し込みをお待ちしております。

〔第 63 回全国保育研究大会 第 2 日目 分科会一覧〕

第 1 分科会 新たな時代の保育実践 ～すべての子どもにむけて～	広島都市学園大学 准教授 深澤悦子 氏
第 2 分科会 配慮を必要とする子どもや家庭への支援に向けて	広島大学 教授 七木田敦 氏
第 3 分科会 保育者の資質向上を図る	大阪総合保育大学 学長・教授 大方美香 氏
第 4 分科会 地域の子育て家庭への支援の充実にむけて	日本社会事業大学 教授 金子恵美 氏
第 5 分科会 子どものより良い育ちにむけた関係機関とのネットワーク	白梅学園大学 教授 長谷川俊雄 氏
第 6 分科会 『食を営む力』の基礎を培う食育の推進	白梅学園大学 教授 師岡 章 氏
第 7 分科会 保育の社会化にむけて ～保育の営みをいかに社会に発信するか～	神戸大学大学院 准教授 北野幸子 氏
第 8 分科会（開催地分科会） 学ぶ 語る 祈る 平和	※第 8 分科会は定員に達したため、受付を終了しました。
第 9 分科会 公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割	中村学園大学 教授 那須信樹 氏
第 10 分科会（プログラムは下記をご参照ください。）	
第 11 分科会 フリー発表分科会	

分科会は、お申し込み時に選択してください（参加申込書にご希望の分科会を記入）。
第 10 分科会のプログラムが決定いたしました。

午前中の講義 I・対談では、参加者の皆さまの意見交換も予定しております。

第 10 分科会（特別分科会）「これからの保育に必要な視点」プログラム	
9：30～12：15 講義 I・対談	<p>「新時代の保育所・認定こども園 —これからの幼児教育・保育ニーズにどう応えるか」 大阪府立大学 教授 関川芳孝 氏 （対談者：全国保育協議会 副会長 森田信司）</p> <p>子ども・子育て支援新制度は 5 年目を迎え、新制度施行後に保育所・認定こども園はどう変わったのか（どう変わるべきだったのか）、保育所・認定こども園の役割について講義を通じて改めて考えます。</p> <p>対談では、子ども・子育て会議における論点を踏まえ、本会の意見表明や提出した意見書について説明し、これからの社会を見すえ、保育所・認定こども園の経営の視点や地域における役割の視点から、幼児教育・保育、子育て支援のニーズに応えるための経営のあり方について参加者ととともに考察します。</p>

13:15～14:45 講義Ⅱ	「保育の質向上の追求 ー計画・実践・評価をすすめるために」 東京大学 准教授 野澤祥子 氏 保育の質を高めるために、実践の評価、見直しが必要であり、国の「保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会」の議論や、6月に公表された実践事例集、また、検証セッションがスタートしている「自己評価ガイドライン」の活用について学びます。
15:00～16:30 講義Ⅲ	「海外の実践から保育の向上について学ぶ」 東洋大学 教授 内田千春 氏 海外の幼児教育・保育を向上させるための仕組み、海外では保育の質をどのように捉えているのか、OECDのデータなどから「保育の実践を高める（保育の質を高める）」海外での取り組みの例やどのような考え方があるのか、日本の無償化を迎える保育所・認定こども園でどのように活かすことができるのかなどを考えます。

第11分科会 フリー発表分科会の発表テーマ・発表者が決まりました。

第11分科会（特別分科会）フリー発表分科会 発表テーマ一覧	
都道府県・市 法人・施設名 発表者【敬称略】 ※発表順は調整中	発表テーマ
群馬県 社会福祉法人峰悠会 認定こども園あおぞら幼稚園 小林 真理子	保護者支援 ～親子が成長していくプロセスによりそう～
茨城県 かすみがうら市立やまゆり保育所 田上 裕子	気持ちに寄り添う保護者支援 ～親子の心と体にやさしい灯りを～
千葉県 社会福祉法人童心会 中山 勲	保育の質を高める 0歳からの人間教育【新しい人間教育術の構築】 ～Innovation of Human Education and Care～
東京都 社会福祉法人東京児童福祉協会 みさと保育所 中村 香織	箸を正しく持つ為にはどうすれば良いのか
東京都 社会福祉法人高洲福祉会 練馬区立石神井町さくら保育園 有馬 聡子	生活経験や物語から広がる遊び ～子ども同士で楽しみ、広げていく物語と遊びの世界～
新潟県 社会福祉法人下山福祉会 下山こども園 齋藤 温子	心を満たす一番の調味料！『人』との触れ合いを通じた食育体験 ～職員と子どもとの食に関する機会づくり及び家庭への食育推進について～
静岡県 社会福祉法人東益津福祉会 たかくさ保育園 望月 悠衣	「ごちそうさま、おいしかったよ」の声が聞こえる給食を目指して ～残食から見る食環境を考える～

島根県 社会福祉法人花の村 幼保連携型認定こども園 あさり園 釜田 舞美	環境が作る子ども同士の関係性とは ～仲間がいるから個が育つ～
広島市 広島市坪井保育園 久保川 泉	『N児の学びの物語を紡ごう』からの考察 ～保育士が語り合う中から見えてきたこと～
福岡県 社会福祉法人浄蓮福祉会 植木保育園 池田 勇	児童虐待が疑われる保護者への支援
北九州市 社会福祉法人みどり会 鴨生田保育園 若松 豊子	専門性を持って保育に臨む ～ソトス症候群で生まれたAちゃんの加配保育士となって～
大分県 社会福祉法人愛友福祉会 藤原こども園 安藤 萌	共に育つ食育活動 ～世界の料理を通して～

皆さまのご参加をお待ちしております。

■全国保育協議会ホームページ 開催要項・申込用紙はこちらをご参照ください。
<http://www.zenhokyo.gr.jp/>

◆令和元年度「社会福祉施設等調査」ご協力のお願い (厚生労働省)

厚生労働省は、全国の社会福祉施設等の数、在所者、従事者の状況等を把握し、社会福祉行政推進のための基礎資料を得ることを目的として、社会福祉施設等調査を毎年実施しています。本調査は、社会福祉分野の人材確保や制度改正に係る検討資料として広く活用されます。今年度は、10月1日に調査が実施されますので、お手元に調査票が郵送されましたら、ご回答へご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

調査の詳細は、別添の資料1をご参照ください。

◆「児童福祉週間」標語の募集 (厚生労働省)

国では、毎年5月5日の「子どもの日」から1週間を児童福祉週間として、標語・ポスターを使った周知を実施しています。

今年度は「その気持ち 誰かを笑顔にさせる種」を標語として児童福祉の推進が展開されました。現在、来年度の標語を募集していますので、広くご応募の周知にご協力をお願いいたします。

■厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/jidouweek/index.html

全保協ニュース

〔協議員情報〕

全 国 保 育 協 議 会

TEL. 03-3581-6503 FAX. 03-3581-6509

ホームページアドレス [<http://www.zenhokyo.gr.jp>]

—今号の目次—

- ◆ 子ども・子育て会議（第45回）開催される…………… 1
- ◆ 『月刊福祉』2019年10月号のご案内（全社協 出版部）…………… 3

◆子ども・子育て会議（第45回）開催される

令和元年9月27日、子ども・子育て会議（第45回）が開催されました。

子ども・子育て支援新制度施行後5年の見直しに係る検討について、公定価格関係以外の項目が提示され、各委員から意見を述べました。

本会からは、森田信司副会長が出席し、次の意見を発言しています。

子ども・子育て会議（第45回）全国保育協議会 発言要旨

- 9月18日付の通知「令和元年10月以降の公定価格の単価案の見直しについて」は、公定価格の考え方が急遽変更されたものです。現場に混乱を招かないよう、丁寧な説明をお願いいたします。
- 満3歳の扱いについて、1号認定と2号認定の考え方の違いを解消するよう要望してきましたが、この他にも、子ども・子育て支援新制度移行時に整理できていない事項が多くあります。
今回の論点（資料）にその一部が示されていますが、子どもの最善の利益を求めると同時に、無償化により誰もが使いやすい、わかりやすい制度をめざす視点も必要ではないかと考えます。
- さらなる「質の向上」のための0.3兆円超の財源確保について、子ども・子育て支援新制度移行時からの課題であり、安定的な財源を確保していただくようお願いします。
- 給食の外部搬入について、0～2歳児に拡大することに反対します。前回、意見書を提出していますが、食に配慮が必要であり、日々の体調に合わせた食の提供を維持するた

め、また食育の推進のためにも自園調理が必要と考えます。

- 保育所等の開所時間は、子どもが利用している時間と同じではありません。子ども一人ひとりの保育の時間は異なり、施設の開所はそれに対応しています。保育所は、月～土曜日の開所が義務付けられており、このような現状も踏まえて議論していただくようお願いいたします。

今回示された論点については、会議での各委員の意見を踏まえ、次回以降に議論が進められる予定です。また、次回の会議において、公定価格に関する論点が提示され、議論が開始される予定です。

同日（9月27日）、内閣府は「認定こども園に関する状況について（平成31年4月1日現在）」を公表しました。

認定こども園の数

園数 7,208 （H30年度 6,160）

内訳

幼保連携型	幼稚園型	保育所型	地方裁量型
5,137 (H30 4,409)	1,104 (H30 966)	897 (H30 720)	70 (H30 65)

(子ども・子育て本部調べ 平成31年4月1日現在)

また、平成31年4月1日時点の保育所等整備量・待機児童数の公表について説明がなされ、2018（平成30）年度の保育の受け皿拡大量、2019（平成31）年4月1日の保育の受け皿について、会議において説明され、子育て安心プランによる保育の受け皿拡大量の見込みを提示しています。

（令和元年9月6日、厚生労働省は「子ども安心プラン」集計結果を公表しています。）

子育て安心プランによる保育の受け皿拡大量の見込み

	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	3か年合計
市区町村拡大量	85,623人 *1	96,651人	54,952人	237,226人
企業主導型 保育拡大量	36,354人 *2	約20,000人 (事業主拠出金による整備予定量)		約60,000人
	(計237,226人+約60,000人)			約29.7万人

*1 子育て安心プラン公表時（平成29年6月）の見込みとの差分（8,069人）を含む。

*2 2017（平成29）年度末までの子育て安心プランの前倒し分（9,703人）を含む。

■内閣府トップページ > 内閣府の政策 > 子ども・子育て本部 > 子ども・子育て支援新制度 > 子ども・子育て会議等 > 子ども・子育て会議

https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/kodomo_kosodate.html

◆『月刊福祉』2019年10月号のご案内 (全社協 出版部)

『月刊福祉』2019年10月号の特集は、「子ども・子育て支援の今を探る」です。

2015(平成27)年4月からスタートした「子ども・子育て支援新制度」は、すべての子どもを対象に子育て支援、保育所・幼稚園、児童館、社会的養護等での保育・教育の充実をめざしたものです。本特集では、新制度に基づく取り組みが質の高い保育や幼児教育、地域のニーズに応じた子育て支援の拡充につながっているのか、また、新たに見えてきた課題は何かについて検証し、子ども・子育て支援の今を探ります。

詳細は下記をクリックしてご参照ください。

<https://www.fukushinohon.gr.jp/surl/196>



【体 裁】B5判/104頁/2019年9月発行

【販売価格】971円(税別)

【購入申込】全社協出版部受注センター (TEL. 049-257-1080、FAX. 049-257-3111)

または、「福祉の本出版目録」webサイト

<https://www.fukushinohon.gr.jp>

【問合せ先】全国社会福祉協議会 出版部

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2

TEL: 03-3581-9511 / FAX: 03-3581-4666